

平成19年「宇宙の日」記念行事における作文絵画コンテスト募集要項

★主催 : 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、協力科学館

★作文絵画

テーマ : 「月に願いを！」

今年の夏、日本から月を調べるための探査衛星が打ち上げられます。これから月の不思議がどんどん解き明かされていくことでしょうか。皆さんが大人になったころには月はどうなっているのでしょうか。月旅行、月での生活、月での仕事のことなど、皆さんが想像する未来の月の様子を教えてください。
※同一のテーマで作文と絵画の作品を募集します。

★応募資格 : 全国の小・中学校に在籍している児童・生徒

★応募締切 : 平成19年7月31日(火) (当日提出先の協力科学館必着)

★応募方法 : ①作文の部

題名は自由です。400字詰め原稿用紙2枚～5枚程度(ワープロ不可、自筆のこと)。作品には必ず、必要事項を記入した応募用紙または住所(ふりがな)、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年、年齢、応募科学館名を明記した紙を添付の上、最寄りの協力科学館(別表1)または「宇宙の日」事務局までお送り下さい。なお、応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。また、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

②絵画の部

A2サイズ(420×594mm)以下の用紙を使用。

作品の裏面に必要事項を記入した応募用紙または住所(ふりがな)、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年、年齢、応募科学館名を明記した紙を添付の上、最寄りの協力科学館(別表1)または「宇宙の日」事務局までお送り下さい。使用する画材は自由です(ただし、コンピュータグラフィックは不可)。なお、応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。また、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

★送付先 : 別表1に示す最寄りの協力科学館または「宇宙の日」事務局へ送付して下さい。

※作文または絵画のみ受け付ける科学館がありますのでご注意ください。

★審査 : 各協力科学館および全国小・中学生作文絵画コンテスト審査委員会

★発表表：それぞれの賞の入選者に直接通知します。

★賞状、副賞：

〔協力科学館により選定される賞及び副賞〕

協力科学館ごとに作文、絵画の以下の賞を選定し、それぞれ以下の賞状及び副賞を贈呈します。なお、応募者全員に参加賞を進呈します。

- ・小学生部門：最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点
- ・中学生部門：〃 1点、〃 2点、〃 3点

各賞に選定された方に、それぞれ賞状及び副賞（別表2）を贈呈します。

〔協力科学館の「最優秀賞」者の中からさらに選定される賞及び副賞〕

さらに、協力科学館の「最優秀賞」者の中から以下の賞を選定し、それぞれの賞状及び副賞（別表3）を贈呈します。

- ・文部科学大臣賞
- ・国立天文台長賞
- ・宇宙航空研究開発機構理事長賞
- ・日本科学未来館館長賞
- ・(財)リモート・センシング技術センター理事長賞
- ・(財)日本宇宙フォーラム理事長賞
- ・(財)日本宇宙少年団理事長賞

作文の部、絵画の部
小・中学生各部門1点
計 28点

★表彰：①協力科学館における表彰

協力科学館において選定される「最優秀賞」、「優秀賞」及び「佳作」の受賞者につきましては、「科学館表彰」として、それぞれの館において、9月中に表彰を行います。

②文部科学大臣賞、国立天文台長賞、宇宙航空研究開発機構理事長賞、日本科学未来館館長賞、(財)リモート・センシング技術センター理事長賞、(財)日本宇宙フォーラム理事長賞、(財)日本宇宙少年団理事長賞の表彰

協力科学館の最優秀賞者の中から選定される上記7賞の表彰は、10月7日（予定）に日本科学未来館（東京）で開催される『宇宙の日』全国小・中学生作文絵画コンテスト表彰式で表彰を行います。なお、絵画の部小学生部門の入賞7作品は、アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSF）※の主催するポスターコンテストに出展される3作品の候補となります。

※「参考情報：アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSF）について」を参照

★問い合わせ先：協力科学館(別表1)または下記事務局にお問い合わせください。

「宇宙の日」事務局 作文絵画コンテスト係

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7F

(財)日本宇宙フォーラム内

TEL:03-5200-1301 FAX:03-5200-1420

E-Mail: space-day@jsforum.or.jp

ホームページ: www.jsforum.or.jp/event/spaceday

(別表 2)

【協力科学館により選定される賞および副賞】

賞	部・部門	作文の部		絵画の部	
		小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
最優秀賞 (各部門 1 点)		フリーキューブ (キューブ型のブロックを組み合わせて、宇宙船やロボット等いろいろな物が作れます。)			
優秀賞 (各部門 2 点)		お絵かきセット			
佳作 (各部門 3 点)		スポーツウォッチ			

(別表 3)

【協力科学館の「最優秀賞」者の中からさらに選定される賞および副賞】

賞	部・部門	作文の部		絵画の部	
		小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
文部科学大臣賞 (各部門 1 点)		地球儀・プラネタリウムセット			
国立天文台長賞 (各部門 1 点)		天体望遠鏡			
宇宙航空研究開発機構 理事長賞 (各部門 1 点)		H-IIA ロケット 1/100 模型			
日本科学未来館館長賞 (各部門 1 点)		電子辞書			
(財)リモート・センシング 技術センター理事長賞 (各部門 1 点)		人工衛星で撮影したあなたの町の写真			
(財)日本宇宙フォーラム理事長賞 (各部門 1 点)		携帯型デジタル音楽プレーヤー			
(財)日本宇宙少年団理事長賞 (各部門 1 点)		ズーム式双眼鏡			

(参考情報)

アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) について

名 称 : アジア太平洋地域宇宙機関会議 (Asia Pacific Region Space Agency Forum)

経 緯 : 1992年のアジア太平洋国際宇宙年会議での宣言を受け、1993年以降
文部科学省及び宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の主催によりほぼ毎年開催。

目 的 : アジア太平洋地域の宇宙利用の促進を目的に、各国の宇宙活動や将来活動に関
わる情報交換、並びに具体的な協力活動の構築に向けた議論を、宇宙機関、国
際機関等をはじめ産学官から広く参加者を求めて行う。

開催実績 : これまでに13回開催。前回は、2006年12月にインドネシアにおいて開
催。次回は、2007年11月にインドにおいて第14回会合を開催予定。

前回 (APRSAF-13) の参加国・参加機関 :

日本、オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、中国、韓国、インド、イ
ンドネシア、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、フィリ
ピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム (各国の宇宙機関の代表者
が参加)

アジア工科大学 (AIT)、ASEAN 事務局、アジア太平洋宇宙技術応用・多国間協
力会議 (AP-MCSTA)、国際山岳開発センター (ICIMOD)、国際連合教育科学文化
機関 (UNESCO)、国際連合宇宙部 (UNOOSA)、国際連合アジア太平洋経済社会委
員会 (ESCAP)、メコン川委員会